

生殖テクノロジーとヘルスケアを考える研究会資料

2010年9月10,11日開催

人工妊娠中絶に関するケアの状況

杵淵恵美子 神奈川県立保健福祉大学教授

要旨 年間20万件以上ある人工妊娠中絶術の約95%は妊娠12週未満に実施されている。多くの女性は妊娠判明後短い期間で「産まない」意思決定をし、中絶手術を受けている。しかし、意思決定過程や中絶手術前後において、心理社会的側面への十分な看護ケアが行われているとは言い難い。医療職者は女性達の複雑で揺れ動く心理を理解して関わり、女性自身の意思決定を支えるための支援が必要である。